

2 問題解決的な学習を促す「学習の進め方」

各学年の最初の単元に、問題解決的な学習の進め方を見開きで例示しています。定評ある「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習の進め方を、具体的に示しています。

本時のめあて

各見開きの左ページ側注に「本時のめあて」を明示することで、課題意識をもって学習に取り組むことができます。

主体的な学びを意識した「つかむ」

各小単位では、課題意識を高め、見通しをもって問題解決的な学習に取り組むことができるよう、「学習計画を立てる」場面を重視しました。

深い学びにつながる「社会的な見方・考え方」

「見方・考え方」を働かせて問題解決的な学習を進めることで深い学びを実現します。

学習の進め方

学習問題をつくり、
学習の進め方をかくにんしよう。

つかむ

気づいたことや
ぎもんに思ったことを
みんなで話し合い、
学習問題をつくらう。

自然が多いところ
もあれば、たて物が
多いところもあると
思うよ。

市役所などの公
共施設はどのよ
うな仕事をするこ
ころなのだろう。

バスや地下鉄は、どこ
までつづいているのかな。

学校のまわりのように、
市にも古くからのこるたて
物がたくさんあるのかな。

みんなで
つくった
学習問題

学習問題

わたしたちの市は、
どのような様子なのでしょう。

学習問題について予想し、
何について調べるかを話し
合ってみましょう。

学習問題について予想しよう

- 自然が多い山の方は、土地が高くなっているのではないかな。
- ひくい土地と高い土地では、使われ方にちがいがあるのではないかな。
- 電車、地下鉄、新かん線のほかに、船もあるのではないかな。
- 公共施設は、くらしを助けるはたらきをしているのではないかな。
- 福岡城のあとがあるから、古い神社やお寺もあちこちにあると思う。

調べること

- 土地の高さや広がり
- 土地の使われ方
- 交通の様子(電車やバス、船、道路、空港)
- 市役所などの公共施設の場所とはたらき
- 古くからのこるたて物

活用のポイント

広がり

- どのように広がっているのかな。

時間

- どのようにかわってきたのかな。

関係するところ

- どのようなつながりがあるのかな。

くらべる、分ける、まとめる、つなげる

- いろいろな方法で、考えてみよう。

このマークを活用して
社会科の学習を進めよう。

福岡市は、どこに
位置している
のかな。

ドラえもんが
目じるしです。

学習問題について 追究する「調べる」

「調べる」段階では、対話的な学習など、さまざまな学習の方法を提示しています。

調べる

いろいろな方法で、
調べよう。

調べ方

みんなで協力して
調べよう。



- じっさいに行き調べる(見学、かんさつ、体験、インタビューなど)。



- 図書館をりようしてしりようを集める。



- 手紙を書いて、ほかの学校や市役所の人などにしつもんする。



- インターネットを使っしりようを集める。

ふり返ろう

- 学習内ようをふり返り、それぞれの時間で、調べたことをせいりしよう。

対話的な学びをさまざまな 場面で提示

児童相互の話し合いや討論の場を積極的に提示し、多様な視点を身に付け、多角的に考えられるようにしています。

まとめる

わかったことや考えた
ことをまとめよう。

- 調べてわかったことや考えたことをまとめてみよう。
- 友だちと話し合ったり、まとめたりするときには、教科書のことはをヒントにしよう。

まとめ方

- 学習問題について調べたことを、ノートやカード、表などにまとめよう。
- 調べてわかったことをもとに、考えたことも書くようにしよう。

ふり返ろう

- 自分の調べ方と友だちの調べ方をくらべてみよう。
- 自分の予想がどうだったか、たしかめてみよう。
- よりよい調べ方やまとめ方について考えてみよう。

学習したことを整理・ 考察する「まとめる」

小単位ごとに「まとめる」段階を設け、多様な表現活動を提示しています。

学びのふり返りを重視

1時間ごと、小単位ごとの「ふり返る」場面を大切にしています。また、学習内容だけでなく、調べ方やまとめ方についてのふり返りも促しています。

社会的な事柄に参画・ 提案する「いかす」

「いかす」段階では、新学習指導要領をふまえ、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断したりする場面を充実させました。

いかす

学習したことを次の
学習や生活にいかそう。

- 調べてまとめたことをもとに話し合っ、次の学習にいかしたり、だれかにつたえたりしてみよう。
- 学習したことをもとに、ほかの学習(ひろげるのページなど)にも広げてみよう。



「学習の進め方をたしかめよう」



国語「図書館の使い方」

● 学習の進め方

3年 P.18-19

3 「主体的・対話的で深い学び」を実現します

「社会的な見方・考え方」を働かせて問題解決的な学習を進め、多様な「まとめる」活動に取り組むことが、「主体的・対話的で深い学び」につながります。

「主体的・対話的で深い学び」を実現する問題解決的な学習

問いの構造

全ての単元を通して、単元のめあて、小単元の学習問題、本時のめあてを構造的に紙面に明示し、問題解決的な学習を効果的に進められるようにしています。

本時のめあて

各見開きの左ページ側に「本時のめあて」を明示することで、課題意識をもって学習に取り組むことができます。

小単元の学習問題

小単元の学習問題をわかりやすく示しています。「まとめる」場面では再提示し、学習問題のふり返りを促します。

主体的な学びへ

児童が学習問題をつくり、小単元の見通しをもって主体的に学習を進めることができます。

5 わたしたちの生活と環境

5 わたしたちの生活と環境

日本の世界自然遺産

わたしたちの生活は、どのような自然環境に囲まれているのでしょうか。

世界遺産

世界遺産条約にもとづいて登録された道徳や自然などのことで、自然遺産、文化遺産、それらの両方の複合遺産の三つに分けられます。

自然環境とかかわっていく大切さ

ひととさんたちは、わたしたちの生活と自然環境とかかわりにて話しています。

「国土の学習では、日本には四季があり、各地にさまざまな地形や気候の特色があることを学習しました。」

「日本には、世界自然遺産に登録されているところもあります。ぜひ一度行ってみたいと思います。」

「一方で、台風や地震、火山の噴火などの自然災害も起きています。」

「きれいな自然環境は、いつまでも守っていきたいです。そのためには、どのようにすればいいのかな。」

日本には、白神山地など世界自然遺産になっている場所だけでなく、豊かな自然環境がたくさんあります。しかし一方で、排水などによって環境が、なってきたときもありました。

「どうしてたくさんあるのかな。」

「昔はよごれていた北の川市が、きれいになったのは何かわけがあるのかな。」

「自然のこわさやよさに対して、どのようにかかわっていけばいいのでしょうか。」

ひととさんたちは、話したことをもとに、国土の自然環境とわたしたちの生活とかかわりにて調べてみることにしました。

単元のめあて

単元の学習のねらいを明確にします。

めあて

国土の自然環境は、わたしたちの生活とどのようなかかわりがあるのでしょうか。

つかむ

3 環境を守るわたしたち

豊かな水資源をもつ京都市

京都市では、まわりの山でたくわえられた豊富な水が地下水や川となり、人々の生活を支えてきました。りくさんたちは、京都の水のことや学校の近くを流れる鴨川について話し合いました。

「わたしたちの住む京都市の中心部には、鴨川が流れています。鴨川はやがて大阪湾に流れていきます。」

「多くの人が散歩やジョギングをしています。水遊びや魚釣り、鳥にえさをあたえる人もいて、市民のいこいの場です。」

「京都市の人は、豊富な川の水や地下水を利用しながら、くらしをよりよくしたり、産業を発展させてきたんだね。」

りくさんたちは、今と昔の鴨川の様子を見て、感じたことや疑問を出し合いました。

「昔の鴨川はともよごれていたのね。なぜ、こんなによごれていたのだろう。」

「ばあちゃんが子どもだったころ、川がだんだんきれいになったと聞いたことがあります。うやうやしくきれいな川に変えたのかな。」

「きれいな川が、鴨川をきれいにするのには、どうしたらいいのかな。」

学習問題

鴨川は、だれがどのようにしてきれいな川になっているのでしょうか。

●豊かな水資源をもつ京都市 5年下 P.124-125

調べる

調べる

美しい鴨川を取りもどすために

鴨川がよごれていたところの全国的な公害の広がりについて学習したりくさんたちは、その後どのように鴨川がきれいになったのかを考えました。

公害の広がりを防ぐために、全国的に取り組まれていたことはあるのかな。」

「京都市でも、鴨川をきれいにするために何かしたのではないかと思います。」

市役所の大原さんの話

1960年ごろから1970年ごろにかけて、全国的に公害が広がったことをきっかけに、国では、公害をなくするための法律や、川などの水をよごさないようにするための法律がつけられました。

京都市でも、生活排水が川に流れこまないように下水道を整備したり、工場の排水を規制したりしました。

公害の広がりを防ぐために、国では法律がつけられ、京都市でも川をよごさないための具体的な取り組みが行われたのです。

法律

社会をよりよくするために、国が国民を守るよう示すルールです。法律がつけられることで、社会のしくみが変わることがあります。

●美しい鴨川を取りもどすために 5年下 P.128-129

まとめる

まとめる

つながりを考えて話し合う

りくさんたちは、学習してきたことをふり返り、鴨川の水をきれいにするための取り組みを、それぞれの立場でまとめました。

そして、まとめたそれぞれの取り組みをみんなで見ながら、自分だったら、どの活動に協力できるかを話し合いました。

学習問題・確認しよう

鴨川は、だれがどのようにしてきれいな川になっているのでしょうか。

●立場を決め、鴨川をきれいにする取り組みをまとめよう

京都市・京都市の取り組み

高度経済成長の時代、鴨川はよごれていたため、京都市では、家庭や工場の排水が直接川に流れないように下水道を整備したり、工場の排水を規制したりしました。また、京都市では、川での遊び方などのきまりを決め、鴨川条例をつくりました。

友禅あらい職人の取り組み

昔は鴨川のきれいな流れを利用して染物をあらいまわっていました。今は、川をよごすことのないように、地下水をくみ上げて工場であらっています。あらった水は下水道に流して、川をよごさないようにしています。

鴨川を美しくする会の取り組み

春の鴨川茶会や夏の鴨川納涼、秋のクリーンハイクなどを計画し、鴨川を美しく、親しみこたえてくれるようにしています。みなさんの協力のおかげで、水はきれいになり、いやなにおいもほとんどなくなりました。京都のほこる鴨川が、いつまでも美しくあってほしいと願っています。

●つながりを考えて話し合う 5年下 P.132-133

しくみやルールがつくられたことで、工場の人々はどのような努力をしたのかな。

しくみやルールがつくられたことで、工場の人々はどのような努力をしたのかな。

社会的な見方・考え方

4種類の「見方・考え方」を働かせることで、深い学びにつながります。

対話的な学びへ

実社会で働く人々の姿に学ぶとともに、グループなどで話し合う活動を積極的に提示しています。

自分だったら、だれのどの活動に協力できるか話し合おう

鴨川を美しくする会に協力できます。川をきれいにする活動に参加することは、わたしにもできそうです。

友禅あらいの職人に協力できると思います。例えば、職人が川をよごさないようにしていることをまわりに伝えたり、それを聞いた人も協力しようと思うかもしれないからです。

わたしは、府や市の取り組みに協力できると思います。例えば、家庭でよごれた水を出さないようにすると、川をよごさないことにつながると思うからです。

考えたことをノートにまとめよう

京都市や京都市の人は、下水道を整備したり、きまりをつくらして守っていました。でも一人ひとりがしっかり守ることが大事だと思いました。府や市の人にまかせておくのではなく、一人ひとりの取り組みが大事だとあらためて気づきました。

りくさんのノート

深い学びへ

「見方・考え方」を働かせた問題解決的な学習を進めるとともに、説明、議論したり、考察、構想したりすることを通して、深い学びを実現します。